

つがる市議会だより

令和3年 第3回定例会
の内容をお伝えします

第71号 令和3年11月発行

親子三代住みたいまち

～森田地区の三世代家族～



よねやおし
米谷男治さん6人家族のご紹介です。

ものづくりが好きな姫空ちゃん(小2)と
カブトムシなどの虫や自然が好きな頼生くん
(3歳)に囲まれ、にぎやかに暮らしています。

頼生くんは実際に祭りを見たことがない
ので、コロナが落ち着いたら祭りを見せて
あげたいと父の高志さんは話していました。

目次

- 2～4 定例会の概要
- 5～7 一般質問6 議員が市政を問う
- 8～9 予算・決算特別委員会
- 10 請願・陳情
- 11 要望活動
- 12 委員会 活動レポート
- 13 米価下落対策特別委員会設置
- 14 気になるワード

令和3年第3回つがる市議会定例会

(令和3年9月2日～9月17日) 16日間

◎は全会一致

議案番号等	件名	審議結果	議決結果
市長提出議案			
予算	60号	令和3年度つがる市一般会計補正予算(第4号)案	◎ 可決
	61号	令和3年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)案	◎ 可決
	62号	令和3年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)案	◎ 可決
	63号	令和3年度つがる市介護保険特別会計補正予算(第2号)案	◎ 可決
	64号	令和3年度つがる市下水道事業会計補正予算(第2号)案	◎ 可決
決算	65号	令和2年度つがる市一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件	◎ 認定
	66号	令和2年度つがる市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件	◎ 認定
	67号	令和2年度つがる市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件	◎ 認定
	68号	令和2年度つがる市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めるの件	◎ 認定
	69号	令和2年度つがる市下水道事業会計決算の認定を求めるの件	◎ 認定
条例	70号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件(つがる市個人情報保護条例の一部を改正する条例)	◎ 承認
	71号	つがる市過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例を廃止する条例案	◎ 可決
	72号	つがる市産業振興促進区域における固定資産税の特別措置に関する条例案	◎ 可決
	73号	つがる市営屏風山牧野条例の一部を改正する条例案	◎ 可決
予算	74号	令和3年度つがる市一般会計補正予算(第5号)案	◎ 可決
契約	75号	工事の請負契約の一部変更の件(入間橋トラス上部補修工事)	◎ 可決
その他	76号	つがる市過疎地域持続的発展計画案	◎ 可決
諮問	3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるの件	◎ 適任
議員提出議案			
発議	2号	つがる市米価下落対策特別委員会設置に関する件	◎ 可決
	3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書案	◎ 可決
	4号	青森県立木造高等学校の学級数維持を求める意見書案	◎ 可決
請願・陳情			
請願	1号	街灯設置に関する請願書	◎ 不採択
	2号	牛瀧福祉館建築に関する請願書	◎ 不採択
陳情	3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について(依頼)	◎ 採択

令和2年度一般会計決算の状況

※1万円未満四捨五入

収入	300億1,574万円
支出	294億2,500万円
翌年度へ繰り越した財源	728万円
実質収支	5億8,346万円

令和2年度のおもな事業

●新型コロナウイルス感染症対策関連費	42億 795万円
●一般廃棄物最終処分場建設事業費	14億4,453万円
●消防再編庁舎建設費	5億 7万円
●総合体育館建設費	3億2,561万円

9月定例会では令和2年度各会計の歳入歳出決算について、全議員で構成する予算・決算特別委員会で審査し、いずれも認定しました。

令和2年度 各会計決算を認定

一般会計 市民一人あたりの支出 **945,807円** 小数点以下四捨五入

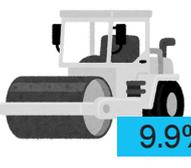
人口31,111人（令和3年3月末現在 外国人を含む）で単純に算出したものです。

令和2年度一般会計予算はこのように使われました。

令和2年度一般会計決算額を市民一人あたりでみた場合、市民の皆さんが負担した市税（市民税・固定資産税など）は85,887円、市民の皆さんのために使われた予算は945,807円になりました。この差額は、地方交付税はじめ国・県などからの補助金等で賄われています。

各項目を一人あたりの支出に換算すると

端数調整をしています。

福祉・社会保障のために 220,373円  23.3%	教育などのために 71,881円  7.6%	道路などの整備に 93,635円  9.9%	保健や環境衛生などに 125,792円  13.3%	消防・防災対策などに 59,586円  6.3%
農業・商工・観光振興などに 86,069円  9.1%	議会運営のために 5,675円  0.6%	その他のサービスなどに 160,787円  17.0%	基金（預金）積み立てに 8,512円  0.9%	公債費（借入金の返済）に 113,497円  12.0%

令和2年度特別会計決算の状況

※1万円未満四捨五入

区分	収入	支出	実質収支
国民健康保険	43億8,706万円	42億8,552万円	1億 154万円
後期高齢者医療	8億 659万円	7億9,684万円	975万円
介護保険	48億5,044万円	48億2,226万円	2,818万円

令和2年度公営企業会計決算の状況

※1万円未満四捨五入

下水道事業会計	総収益	12億6,527万円
	総費用	12億 498万円
	純利益	6,029万円

※令和2年度より下水道事業は地方公営企業法を適用

提出された議案を**ピックアップ**

議案第73号

つがる市屏風山牧野条例の一部を改正する条例案
【経済建設常任委員会付託】

家畜保護施設等が 整備されました

◇冬期間に肉用牛を預託する**家畜保護施設**と採草地から刈り取った牧草を貯蔵する**飼料貯蔵施設**を屏風山牧野に設置したほか、施設使用料等を定めたものです。

名称	面積
家畜保護施設	1,032㎡
飼料貯蔵施設	341㎡



屏風山牧野

家畜保護施設使用料

肉用牛		区分
おおむね 月齢10カ月 未満	おおむね 月齢10カ月 以上	月齢別
受け入れしない	市外	使用料
	市内	
	一日につき 850円を 限度とする	一日につき 650円を 限度とする

こんな質問が 出ました

問 屏風山牧野にはどのくらいの牛が放牧されているか。また、家畜保護施設使用料には餌代は含まれているのか。

答 一日およそ100頭の牛が放牧されており、家畜保護施設使用料には餌代も含まれている。



人事案件

諮問第3号

◎人権擁護委員

次の方を適任と答申しました。

近藤 節子さん (新任・木造)

任期 令和4年1月1日から

令和6年12月31日まで



整備された家畜保護施設

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。

ワクチン接種率

50歳代	1回目	16.7%
	2回目	9.6%
60歳以上 64歳未満	1回目	28.7%
	2回目	9.4%
65歳以上	1回目	80.8%
	2回目	75.8%
総数全体 (12歳以上)	1回目	42.2%
	2回目	36.8%

8月20日現在

問 年別のワクチン接種率は。【福祉部長】
左記のとおり。

答 市民に接種券が確実に届くようにチエック体制を強化するほか、ホームページなどで接種券の発送状況を周知したいと考えています。

問 新型コロナウイルスのワクチン接種券の発送漏れがあり、市は早急に対処したが、市民が発送状況を確認できるようにホームページなどで周知してはどうか。【市長】



いつわかい なりた かつこ
五和会 成田 克子

●適切なワクチン接種の運用を

問 集団接種において、キャンセルが生じた場合の対応は。また、ワクチンを廃棄処分したケースはあったか。【福祉部長】

答 キャンセルが生じた場合のワクチンの取り扱いについては①接種業務に関わる医療従事者②高齢者等介護事業所従事者③接種業務に従事する市職員の順に接種して対応しており、あわせて、8月からはキャンセル待ち登録を実施していますが、キャンセル分への接種者が見つからず、現在までにワクチン7回分をやむを得ず廃棄しています。

問 ワクチン接種の2回目終了時期と3回目の接種時期は。【福祉部長】

答 ワクチンの接種率が8割程度であれば、11月末までの終了を見込んでいます。3回目の接種については、国から示されていませんが、接種が可能となった際は早期に対応できるように準備してまいります。



いつわかい はせがわえいこ
五和会 長谷川 榮子

●世界文化遺産登録となった2遺跡の活発なPRを

問 亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚が世界文化遺産に登録されるが、観光客が徐々に増えてきているが、現地に行くまでの案内看板がほとんどないため、不便だという声を聞く。簡単に現地に行けるように道路に分かりやすい案内看板を設置できないか。【教育部長】

答 県が設置した観光用の案内看板が4基ほど設置されていますが、世界遺産の表記はなく、案内としては不十分な状況となっています。多方面からの来訪者に対応できるように案内看板を来年度に設置できるよう関係機関と協議、調整してまいります。

問 遺跡の案内所の設置は考えているか。【教育部長】

答 現地にある遺跡案内所以外の設置は考えていません。市内の各施設に遺跡に関するマップなど設置し来訪者の利便性向上および周知に努めたいと考えています。

問 市内の施設に限らず、近隣の市町にも観光マップやパンフレットを設置して遺跡のPRに努めてはどうか。【教育部長】

答 議員ご提案のとおり、近隣の施設に観光マップなどの設置を依頼するほか、市職員が遺跡について簡単に説明できるよう職員研修を実施したいと考えています。

問 遮光器土偶のゆるキャラを作成してつがるちゃんと一緒にPR活動してはどうか。【市長】

答 マスコットキャラクターの目的は、つがる市を知ってもらうことだと考えており、世界文化遺産登録がされた今となっては遮光器土偶のマスコットキャラクターを使う時期は経過したのではと考えています。世界遺産の決定により構成資産である2つの遺跡が本市に所在することは認知されているため、観光客をどう呼び込むかを考えていきたいと思っています。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



たかし 孝志
さとう 佐藤
きしんかい 絆心会

●市長公約の具体的な内容は

問 市長公約の中で農作業の省力化を確立させるためにはスマート農業の普及が必要条件としているが、どのようにしてスマート農業を普及させていく考えか。

【市長】
答 農業従事者の高齢化や労働力不足など課題のある中、農業に魅力を感じてもらおう施策として市単独事業でスマート農業機械の導入を推進し、GNSS基地局を利用する農業機器やスマート農業機械購入の一部を補助します。スマート農業機械の導入により、労働力不足を解消するほか、農作業の効率化や省力化が期待されます。

問 若年夫婦子育て世帯の移住、定住をどのように推進していくのか。

【市長】
答 子育て若年夫婦世帯移住応援事業では民間賃貸住宅家賃の一部を補助し、マイホーム応援事業では家の新築または購入する移住世帯に費用の一部を補助しており、今年度からは上限額を50万円から100万円

に拡充したほか、新婚生活スタートアップ事業では40歳未満の新婚夫婦を対象に新居にかかる住宅購入費など引越越し費用の一部を補助しています。これらの施策により、平成28年度からの5年間で111世帯、307人の方が移住しています。実施している事業を継続しながら今後も移住、定住の推進に努めていきます。

問 牛潟バイパス工事の状況は。

【市長】
答 牛潟バイパス工事については県に要望し、令和元年度に事業採択となりました。詳細設計や地質調査等の結果、軟弱地盤の改良に膨大な事業費がかかるため、ルートを再検討し、年内には新しいルートを示した地元説明会を予定しています。

問 市街地の活性化とあるが、どこを考えているか。

【市長】
答 旧木造町の有楽町、千代町の2商店街を考えています。

問 蓮花田橋の現状と原因は。また、今後の復旧計画は。

【建設部長】
答 蓮花田橋は昭和53年架設の橋長13・4メートルの橋で鋼管基礎杭が剪断し、令和3年3月に沈下が確認されました。原因は水位の干満により乾湿を繰り返す、鋼管が腐食したものと考えています。復旧については、仮橋を今年中に設置し、来年度から本橋の建設と沈下した橋の撤去を計画しています。

問 橋梁長寿命化による調査状況と結果はどうであったか。

【建設部長】
答 平成28年度と令和元年度に行った点検調査では市道に架かる橋169橋のうち、修繕が必要な橋は51橋あり、12橋の修繕工事を完了しています。今後も年間4橋程度の修繕工事を継続的に実施し、健全化を図ります。

問 市のハザードマップには地震、津波の災害時に海水が川を遡



あきた やたてゆき
いづわかい 五和会

●災害を予見した準備を

る河川遡上について表記しているか。

【総務部長】
答 津波による遡上は木造出来島地区の石沢川を想定し、ハザードマップに掲載されていますが、今年5月に公表された県の津波浸水想定において、新たに十三湖から山田川への遡上が想定され、富苑町の山田川流域の水田地帯の一部が50cm以上1m未満の津波浸水想定区域として追加されたため、令和4年3月改定予定である新しいハザードマップに掲載して周知していきます。

問 子どもの水難事故を防止するため、ライフセーバーを活用して水辺で安全に遊ぶための知識や技術を学ぶ教室を小学校で開催できないか。

【教育部長】
答 ライフセーバーを活用した学校での授業は各学校の判断となりますが、教育委員会から各学校に対し、授業に協力できるライフセーバーに関する情報提供は可能と考えています。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。

問 世界遺産となった縄文遺跡群の今後の展開は。

【教育長】

世界遺産は人類共通の財産として恒久的な保護を前提に遺跡と周辺景観を保全する必要があります。具体的には①土地の公有化を推進②遺構表示や説明板の設置等により遺跡の内容を解説③地下にある遺構、遺物や遺跡の価値を理解してもらうため、ガイダンス施設を整備④現地で遺跡を説明するボランティアガイドの増員および養成⑤当時の景観などを映像再現するICT機器などの活用を考えています。なお、ガイダンス施設等整備の前に遺跡の整備基本計画を策定する必要があり、令和4年度から2か年を予定しています。また、教育現場において、市内児童生徒に対する体験講座や出張講座を引き続き行うとともに、今年度から始めている郷土学の共通教材として縄文遺跡に関する副読本を制作し、若い世代から縄文遺跡への理解と郷土への誇りの醸成に努めたいと考えています。



いとう りょうじ
五和会 伊藤 良二

- 縄文遺跡群の今後の展開は
 - 総合体育館の活用方法は
 - PCR検査費用助成の申請状況は
- など

問 (仮称) 総合体育館の活用方法は。

【教育部長】

総合体育館の活用に関しては利用料金などを含め、運営検討委員会で議論を重ね、今後は運営検討委員会の意見等を踏まえながら、スポーツ利用に限らず、様々な催し物にも大いに活用してもらえような施設運営をしたいと思っています。

問 新型コロナウイルス感染症対策としてPCR検査費用の助成をしているが、申請状況は。

【福祉部長】

PCR検査等費用助成事業は今年度から実施しており、福祉施設内または施設関係者に新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認された場合、行政検査の対象にならずに任意で受ける検査費用の一部を助成するもので1施設から申請があり、検査件数は10件で助成額は1万4000円となっています。

問 ナラシ対策の新規加入状況は。

【経済部長】

令和3年の加入者845人のうち、新規加入者は65人となっております(7月末現在)、収入保険に移行した農業者がいるため、ナラシ対策の加入者は昨年度より減少しています。



さいとう わたる
みしんかい 齊藤 渡

- ナラシ対策の補償概要は
- 住民票のコンビニ交付は可能か

の可否が分かります。その後、6月下旬頃に農家に補てん金が交付されています。

問 利便性向上のためにコンビニで住民票を交付できないか。

【民生部長】

本市では本庁および各出張所において、証明書等を交付しており、つがる出張所においては土日祝でも19時まで(年末年始除く)対応しています。コンビニ交付を実施した場合、システムの構築等に伴う初期費用は約6000万円となるほか、年間1000万円以上のランニングコストがかかるため、マイナンバーカードの普及率や窓口の効率化、他市町村などの状況を注視しながら総合的に検討したいと思っています。

問 マイナンバーカードの普及率向上のための取り組みは。

【民生部長】

広報による周知のほか、市民課において、閉庁日(月一回程度)にマイナンバーカードに関する窓口を開設しています。

問 ナラシ対策の補てんが行われるのはいつか。

【経済部長】

これまでの例では翌年の5月下旬に津軽地域の当年産の標準的収入額が告示され、ナラシ対策の適用

予算・決算特別委員会

審査の内容をお伝えします



委員長

伊藤 良二

議案第60号

令和3年度つがる市一般会計補正
予算(第4号) ※一万円以下四捨五入

歳出

PCB廃棄物処理委託料

281万円

PCB濃度分析業務委託料

54万円

【問】 PCB廃棄物処理等について詳細な説明を。

【財政部長】

【答】 令和2年度に高濃度PCB安定器の処分を終了しているが、低濃度のPCB含有の疑いがある機器の処分または濃度分析をす

歳出

新型コロナウイルスワクチン

接種事業費

726万円

木村 良博 委員

【問】 (関連質問) 感染症対策環境整備支援事業として市内事業者に感染予防のための備品購入費の一部を補助していたが、どのくらいの申請があったか。

【経済部長】

【答】 市内97事業所から申請があり、予算額を超えたため、今定例会において追加補正して対応する。

歳出

再生可能エネルギー導入目標

策定業務委託料

1000万円

【問】 業務内容の詳細は。

【総務課長】

【答】 鯉ヶ沢町、深浦町と共同して2050年までに温室効果ガスの排出ゼロ(＝脱炭素社会)の実現に必要な政策目標・施策を検討する。

成田 博 委員

歳出 補助金

490万円

移住者マイホーム応援事業

【問】 11月上旬の発送を予定している。

【総務課長】

【問】 (関連質問) 経済対策分として6月に補正した全市民対象の1人5000円分の商品券配布はいつになるか。

【問】 どのくらい申請があったか。

【総務課長】

【答】 これは、マイホームの新築または中古住宅を取得する移住世帯に対し、その取得費の一部を補助する事業で今年4月から上限額を50万円から100万円に拡充した。当初予算において8件を見込んでいたが、すでに申し込みが8件あるため、6件の追加を見込んで補正する。

歳出 補助金

800万円

経営継承・発展支援事業

佐々木 敬藏 委員

【問】 詳細な説明を。

【農林水産課長】

【答】 農林水産省による新規事業で農業経営を継承し、その経営を発展させる取り組みに対して支援する。具体的には、農業経営の法人化、新規品種部門の導入や省力化機械の購入などに国と市それぞれが2分の1を負担する。上限額は100万円、100万円以内なら農家負担はないが、当事業と農

業次世代人材投資事業は重複して受けられない。

議案第65号

令和2年度つがる市一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

歳入

ふるさと納税寄附金

3234万円

【総務課長】

長谷川 榮子 委員

【総務課長】 令和2年度の人気返礼品は黒にんにく200gが3袋入った山盛りセットとなっている。

【総務課長】

お墓参りと空き家見回りの申し込みはあったか。

お墓参り代行、空き家の見回り代行とも申し込みはなかったが、空き家の除雪代行は2件、空き家の草刈り代行は3件あった。

地域活力を向上させるため

にも、ふるさと納税に力を入れていくべきでは。

【総務課長】

今年度からふるさと納税業務の委託、返礼品の追加やふるさと納税サイトの増設などに取り組んでおり、さらなる魅力発信に今後も努めていく。

歳入

ふるさと市町村圏基金返還金

8576万円

【総務課長】

田中 透 委員

詳細な説明を。また、この返還金には使途の制限はあるか。

平成11年につがる西北五広域連合を構成する当時の14市町村と青森県が出資して基金を設置し、運用益を活用して広域的な活動を行う団体に助成してきたが、

昨今の金利低下による運用益の減少、交付団体の固定化などにより、基金を廃止した。廃止によって構成自治体に返還された基金原資と利息は一般財源として活用できる。

歳入

本庁舎使用料

108万円

秋田谷 建幸 委員

【財政部長】

1階ロビーの東北労働金庫ATM設置使用料9万円、本庁舎

屋上のPHSアンテナにかかる使用料7万円、1階ロビーの市総合案内板にかかる使用料1万円、農林水産課内の地域農業再生協議会において使用した複写機、光熱水費等91万円となっている。

歳出

短期臨時店舗運営業務委託料

1763万円

佐藤 孝志 委員

【総務課長】

詳細な説明を。

東京都神楽坂に臨時店舗を開設し、新型コロナウイルス対策における農家経営継続支援として農産物や加工品を販売し、消費拡大を図った。

歳出

予備費

3428万円

木村 良博 委員

【財政部長】

予備費は当初・補正予算で対応できない災害など突発的な経費に対して使用できると認識しているが、何に使われたか。

【財政部長】 新型コロナウイルス感染症対策費としてマスクや手指の消毒液などの消耗品568万円、森田小学校の校舎屋根の剥離に対する災害復旧工事314万円のほか、当初・補正予算で対応できない経費について使用した。

【市長】

（関連質問）令和3年産米の生産者概算金が大幅に引き下げられ、農家の減収が見込まれるが、支援策について予備費で対応するなど考えているか。

予備費は不測の経費が生じたときに使用し、かつ単年度で完結する予算であるが、農家支援の予算額としては不十分であるため、米価下落に対しては予備費によらず、適切に対応したいと考えている。

提出された請願・陳情は以下になりました

請願名	請願第1号 街灯設置に関する請願書	請願第2号 牛瀨福祉館建築に関する請願書	陳情名	陳情第3号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について（依頼）
請願内容	牛瀨町集落から高山稲荷神社に通じる県道高山稲荷神社線には、街灯が設置されていない。安全確保のため、街灯の設置を求める。	牛瀨地区の車力高齢者コミュニティセンターは老朽化によりトイレの故障やカビの発生により利用に支障をきたしているため、新たに牛瀨福祉館の建築を求める。	陳情内容	新型コロナウイルス感染症のまん延により、来年度においても厳しい財政運営を余儀なくされるものと予想される中、地方自治体は環境問題など新たな財政需要にも対応しなければならないため、地方税財源の充実確保を求める。
請願者	地縁団体 牛瀨町内会 会長 小山内 竹一	地縁団体 牛瀨町内会 会長 小山内 竹一	陳情者	全国市議会議長会 会長 清水 富雄
委員会の意見・結果	（総務常任委員会付託） 現地確認の結果、他地区と比較し、緊急性が低いと判断して不採択とする。しかし、カーブや交差点など事故の発生が懸念される箇所への街灯設置について、市から所管する県に対して要望するよう求める。	（教育民生常任委員会付託） 現地確認や利用状況などを鑑み、緊急性が低いと判断して不採択とする。しかし、継続して施設を使用できるように修繕等で対応するよう市に求める。	委員会の意見・結果	（総務常任委員会付託） 来年度においても厳しい財政運営が予想され、社会保障関係経費など、将来に向け [※] 増嵩する財政需要に見合う財源が求められるため、これを採択し、意見書案を本会議に提出する。

委員会発議

発議第3号

※^{ぞうすう}増嵩…金額などが増加すること

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書案

地方自治体ではコロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け[※]増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。その財源確保のため、令和4年度地方税制改正に向け、地方一般財源総額の十分な確保など強く国に要望する。

意見書案は全会一致で可決され、議長名で内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長ほか関係省庁へ送付しました。

議員発議

発議第4号

青森県立木造高等学校の学級数維持を求める意見書案

木造高等学校は文武両道を掲げ、大学進学、公務員の就職などに成果を収め、西北地区の中学生に高い人気を誇っているが、[県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画案](#)では木造高等学校の学級数を削減する方針を示している。学級数の削減は学校全体の活動の衰退にもつながるため、現状の学級数を維持するよう県および県教育委員会、県議会に要望する。

意見書案は全会一致で可決され、議長名で県および県教育委員会、県議会に意見書を提出しました。

木造高校学級数減見直しを

野呂^の司^{ろつかさ}議長、佐々木^さ直光^{さきなおみつ}副議長、成田^{なりた}克子^{かつこ}教育民生常任委員長は倉光^{くらみつ}弘昭^{ひろあき}市長、葛西^{かさい}岨^{いんすけ}輔^{すけ}教育長とともに県、県教育委員会、県議会に対し、青森県立木造高等学校の学級数維持を要望しました。要望に対し、和嶋^{わじま}延寿^{のぶとし}県教育長は、「子どもたちが減っている状況を踏まえながら学校の維持を考えなければならない。地区懇談会においては丁寧な説明をして理解を得られるよう努力していく」と回答しました。また、三橋^{みつはし}一三^{かずみ}県議会議長からは、「地区懇談会では丁寧に議論する必要があり、県教育委員会はしっかり地域の声を聴かなければならない。今回の計画案については多くの議員が疑問を持っているため、活発な議論が行われると思っている。その経緯を見ながら議会として対応していく」と回答がありました。

木造高校の学級数減は地域全体の問題でもあるため、市議会として今後の動向に注視しながら積極的に取り組んでまいります。



要望書を渡す野呂議長



学級維持を訴えました



要望書手交
左から三橋県議長、野呂市長

議会改革特別委員会 10月12日

議会のICT化に向けタブレット端末の操作研修

これまで、議会におけるタブレット端末導入について費用対効果の検証や導入済み議会の視察を実施し、協議・検討してきた。今回、自治体 No.1 のシェアを誇るペーパーレス議会システム「SideBooks」を開発した東京インタープレイ株式会社によるタブレット端末・議会システムの操作説明をリモートで受けたほか、タブレット端末の機種や通信方式、画面のサイズなど機能性についても説明を受けた。

- ◎ SideBooks は PDF の閲覧アプリで、クラウド本棚は議会・会議資料を共有でき、ペーパーレス議会を可能とするほか、過去資料の検索が短時間でできる。
- ◎ 導入自治体の 90%以上が簡単に操作できる iPad を採用。
- ◎ 通信事業者として、導入自治体の 65%が通信範囲の安定性とサポートの手厚い株式会社 NTT ドコモを採用。



来年度からの機器導入に向けて話し合いました

これらの説明を受けた後、議会側と理事者側を含めたタブレット端末導入に向け、機種などを選定した。今後、新年度の予算要求するほか、タブレット端末の運用規定の整備や完全ペーパーレス化の時期についても協議していく計画である。

委員会活動レポート



現場の声を聴いて伝えている記者と議員の仕事は似ていると説明



やってみると難しい新聞の見出しづくり



親しみやすい議会広報をめざして

●議会だより編集委員会 研修会 8月4日

議会広報は議会の内容や議員活動を広く発信して議会の見える化を図り、市民との情報共有を目的としている。議会だよりの資質向上のため、東奥日報社の販売局長三浦博史氏とNIE・NIB推進部長鎌田浩伸氏による新聞セミナー講座を本庁舎会議室で行った。

幅広い年代に読んでもらうための分かりやすい文章づくりや広報を手にとってもらうための技術として市民を登場させる企画についてなど学んだ。三浦氏は「言葉の力を信じて地域のためになるように使っていきましょう」と話し、改めて言葉の持つ影響力と重要性を感じさせられた。この研修を活かして、見やすく分かりやすく、市民に親しまれるような議会広報の作成に繋げていきたい。

●教育民生常任委員会 所管事務調査 8月5日

【亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚】

令和3年7月27日に、亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚など17の構成資産を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録された。

社会教育文化課より世界文化遺産登録に至るまでの経緯などについて説明を受けた。委員からの「ガイダンス施設の整備スケジュールは」との問いに、「来年度、ガイダンス施設建設計画を含めた整備基本計画を策定していく」との回答があった。その後、亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚の現地を視察し、遺跡の保存、活用、整備、景観保全など様々な課題があることを確認した。

【児童生徒に整備された一人一台端末】

GIGAスクール構想は文部科学省が子ども一人一人の個性に合わせたICT教育の実現を目指し、児童生徒一人一台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するもので本市では小学校と中学校の全児童生徒にタブレット端末を配置したほか、インターネット環境等を整備して今年度から運用している。指導課より現状について説明を受けたほか、国語の授業での端末活用や児童生徒が操作に慣れ親しむ様子を動画で確認した。今後、自宅への端末機器の持ち帰りについて、どのようにしていくかなど課題はあるが、端末機器を大いに活用してもらい、児童生徒のさらなる学力向上に期待したい。



亀ヶ岡石器時代遺跡発掘調査の様子を視察



田小屋野貝塚人骨発掘跡地を視察



平川指導課長より説明

米価下落対策特別委員会設置

稲作農家に対する支援策を協議 9月10日

発議第2号（議員発議） つがる市米価下落対策特別委員会設置に関する件

令和3年産米生産者概算金が大幅な引き下げとなることを受け、稲作農家にとって生産努力の限界を超えた大幅な減収が見込まれ、基幹産業である本市農業の存続の危機が迫っている。これらの状況に迅速に対応するため、収入減少が見込まれる稲作農家の支援策の検討・協議を目的に全議員で構成する米価下落対策特別委員会を設置する。

委員長	きむら よしひろ 木村 良博
副委員長	たかはし さくぞう 高橋 作藏



生産意欲の低下を防ぐ支援策が求められます

市に支援策を要望

米価下落対策特別委員会 9月17日

米価下落対策特別委員会において、稲作農家に対する具体的な支援策について検討・協議した結果をまとめ、10aあたり5,000円以上の支援を求める要望書を市長に提出しました。

要望に対し、倉光弘昭市長からは市内の稲作農家につがる口マンとまっしぐらの主食用米作付面積10aあたり5,800円を支援すると回答がありました。

農林水産省の調査によると、本県の米の生産経費は10aあたり9万1,582円で、生産者概算金を10俵で試算するとまっしぐらで8万円となり、1万1,582円の赤字となるため、市は赤字額の2分の1にあたる5,800円を補助することにしました。

市長部局の迅速な対応に感謝しつつ、今後も市民にとって必要な政策が講じられるよう市議会として取り組んでまいります。

交付対象者は2,185人で、予算総額3億2,222万円を
9月27日、市長専決処分により補正



要望書手交



活発な意見交換が行われました

高校生 議場見学

五所川原農林高等学校 企業見学会 10月14日

五所川原農林高等学校1年生が議場を見学しました。

これは授業の一環として行っているもので、生徒たちは議会議務局職員から議会の概要説明を受けた後、議長席、議員席、理事者席など、席に着き、マイクに向かって発言するなど議会を体験しました。

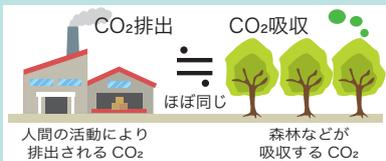


議長席がモニターに映り、笑顔になる生徒たち

ゼロカーボンシティ

2050年までに「温室効果ガスの排出量－吸収量＝0」を目指す自治体

ほぼゼロ



できることから取り組んでみましょう

- エネルギーを節約・転換しよう！
- 太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう！
- CO₂の少ない交通手段を選ぼう！
- 食口スをなくそう！
- サステナブルなファッションを！
- 3R（リデュース、リユース、リサイクル）
- CO₂の少ない製品・サービス等を選ぼう！
- 環境保全活動に積極的に参加しよう！

ゼロカーボンアクション

出典：環境省「COOLCHOICE」 ホームページ <https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>



これまでの議会活動の一部を紹介します

8月	4日	議会だより編集委員会研修会
	5日	教育民生常任委員会所管事務調査
	6日	正副委員長会議
	26日	議会運営委員会
9月	2日	令和3年第3回つがる市議会定例会開会
	6日～7日	一般質問
	8日～9日	予算・決算特別委員会
	10日	米価下落対策特別委員会設置
	13日	経済建設常任委員会、教育民生常任委員会 総務常任委員会
	17日	令和3年第3回つがる市議会定例会閉会 米価下落対策特別委員会要望活動
10月	22日	要望活動（県、県教育委員会、県議会）
	12日	議会改革特別委員会
	21日	議会だより編集委員会
	22日	津軽圏都市町村議長懇談会（仮称）設立準備会（弘前市）

おしらせ

新型コロナウイルス感染症の感染予防、感染拡大防止のため、会議の傍聴を制限する場合がありますので、傍聴を予定している方は議会事務局へお問い合わせください。

議会中継を ご覧いただけます。

本会議などの様子をインターネットでライブ中継、録画中継しています。



つがる市議会 インターネット中継

検索

次回定例会予定 **12月** 詳しくはホームページをご覧ください
 たくさんか議会事務局にお問い合わせください。



こちら編集室

出来秋を迎えた美しい黄金色の津軽平野と勇壮な岩木山はつがるの風物詩です。

地球温暖化の影響でしょうか、夏の猛暑に加え、秋とは思えないほどの暑さが続いています。稲刈りは急ピッチで進められていますが、東北地方に大型の台風が来ないうちに、収穫作業が終わってほしいと願うばかりです。

近年、全国各地で自然災害が頻発し、強風や大雨、高潮、土砂崩れ等による被害が甚大となっています。環境活動家のグレッタさんは、「大人たちは本気で地球温暖化などの問題に向き合おうべき」と、強く呼びかけています。

私たちも環境保全、地球温暖化防止のため、エコバック持参のほか、稲わら・家庭ゴミを燃やさない等、できることから始めましょう。地球に優しい生活を心がけていきたいものです。

（成田 克子 記）

議会だより

編集委員会

- 委員長 長谷川 榮子
- 副委員長 伊藤 良一
- 委員 成田 克子
- 委員 佐藤 孝志
- 委員 成田 成子
- 委員 齊藤 渡博